

令和元年 5 月吉日

一般社団法人 日本応用地質学会
フィールドの達人企画委員会

「令和元年度 応用地質技術実践講座」開催のお知らせ

拝啓、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本応用地質学会ならびにフィールドの達人企画委員会では、技術の伝承や若手技術者の現場を中心とした地質調査・解析技術力の向上を目的として、平成 26 年度から「応用地質技術実践講座」を企画・開催しております。実践講座のテーマは応用地質技術に深く関わる「地下水」「土木地質」「地すべり」「地形」の 4 つに分類し、毎年テーマを変えていずれも調査解析技術・手法について議論を深めて各テーマの根幹となる考え方を実践的に学び、講座参加者から好評を得ることができています。

昨年度は地下水をテーマとして、そもそも地下水とは何か、地下水はなぜ流れるのか、などの基本的な事項を自然科学の立場からのアプローチで原理原則に基づく地下水の基礎を分かりやすく講義し、現場実習も含めて地下水流動系の考え方について議論を深めました。

今年度は土木地質の基本となる『岩盤分類』をメインテーマとし、岩盤分類の基本思想やその歴史、地質工学的評価の基本、岩盤分類と設計との対応などを分かりやすく講義するとともに、実務担当者による事例も交えた岩盤分類の基本を伝授できるようなプログラムを予定しています。なお、実際の現場(川上ダム建設現場を予定)でのボーリングコア観察や掘削面スケッチなどの実習を含めた講座を企画しています。岩盤分類はダム地質の分野を中心とした基礎技術ですが、ダムに限らず全ての構造物基礎を評価するために必要な要素です。机上の講義だけでなく講座参加者の実務に活かせるべく、実践的に役立つものになりたいと考えています。なお、座学および現場研修の一部は当学会の土木地質研究部会のメンバーが担当します。

近年は現場での実践的な教育訓練の機会が減少しており、OJT による若手への技術伝承の場が少なくなっている現状です。つきましては、この好機をとらえまして、地質技術職員の積極的な参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

敬具

1.日 時：第1回(座学) 7月19日(金)
第2回(現場研修) 9月5日(木)～9月7日(土) 2泊3日

2.場 所：

座 学：八千代エンジニアリング(株) 東京都台東区浅草橋5-20-8 17階会議室
現場研修：水資源機構 川上ダム(調整中)

3.目 的：技術伝承、中堅・若手技術者を対象とした地質調査・解析技術力の向上

4.定 員：20名(原則として、座学・現場研修のいずれにも参加できる方に限ります)

5.募集対象：実務経験3～10年程度の方、あるいは土質中心で岩盤の経験が浅い方。

6.参 加 費：1名あたり25,000円(コア箱運搬費用を含む、宿泊費は別途)

参加費は、第1回開催時に徴収します。やむを得ない事情にて第2回以降を欠席した場合の返金はありません。

現場研修にかかる移動費用や宿泊費等で25,000円程度を別途予定しています。なお、現場研修は近鉄名張駅集合解散予定です。名張駅までの交通費は各自でご負担願います(詳細行程は後日お知らせします)。

7.申込締切：令和元年6月28日(金)

申込人数が定員になった場合は、その時点で締め切らせていただきます。

8.申込方法：申込用紙に所定の事項をご記入の上、E-mailでお申し込み込み下さい。

9. C P D：日本応用地質学会またはGeo-SchoolingNetにて登録、発行予定。

10.申し込み先・問い合わせ先：

八千代エンジニアリング(株) 磯村 敬

〒111-8648 東京都台東区浅草橋5-20-8

E-mail:tk-isomura@yachiyo-eng.co.jp

TEL :03-5822-2384

FAX :03-5822-2799

応用地質技術実践講座 参加申込書 E-mail^注添付用

・送付先：(事務局) E-mail : tk-isomura@yachiyo-eng.co.jp TEL : 03-5822-2384 FAX : 03-5822-2799

注：E-mail が使用できない場合は FAX にてご送信ください。
 その際は、お手数ですが送信後、TEL にて事務局に着信確認を依頼してください。

参加者氏名(フリガナ)		性別	男・女
所属機関 所属部署		業務経験 年数	
日本応用地質学会	会員 ・ 非会員	非会員の 場合	入会希望・希望せず
最終学歴	大学院・大学・短大・高専・高校	学校での 専門分野	地質系・地球物理系・土質系 環境系・地下水系・土木系 その他()
所属先情報	住所	〒	
	TEL 番号 FAX 番号 E-mail	内線()	
	携帯番号	(緊急時のみ使用)	
7月19日の意見交換会の参加 (参加費：3,000円)		参加 ・ 不参加	
備考	(食物アレルギーや喫煙の有無等、宿泊時の情報としてお書きください)		

定員が少ないため、1社で2～3名程度までとさせていただきます。申込用紙は各人一枚ずつ。

個人情報には保険加入に使用し、そのほかの目的では使用しません。

※定員になり次第申し込みを締め切らせていただきますのであらかじめご了承ください。

申込み締め切り：令和元年6月28日(金)

【実践講座の内容】

第1回座学(会場 八千代エンジニアリング(株) 東京) 7月19日(金) CPD:6.5h

タイムスケジュール		講義内容	講師(案)
9:50~10:00		講座の開催にあたって	大石 朗 フィールドの達人企画委員会 委員長 (八千代エンジニアリング(株))
10:00~11:00	1.0h	岩盤分類の基本思想とその歴史	
11:00~12:00	1.0h	硬岩・軟岩と岩盤分類	西柳 良平 (株)建設技術研究所
12:00~12:45	0.75h	昼食休憩	—
12:45~13:30	0.75h	地質工学的評価の基本	清水 公二 (株)ニュージェック
13:30~14:15	0.75h	岩盤分類は設計にどう影響するか	柳澤 得寿 (日本工営(株))
14:15~14:30	0.25h	休憩	—
14:30~16:30	2.0h	事例紹介(調整中) ・Aダム(重力式:丹波帯) ・Bダム(重力式:火山砕屑岩) ・Cダム(フィル:花崗岩) ・Dダム(CSG:堆積岩)	事例紹介担当会社(調整中) ・(株)ニュージェック ・(株)建設技術研究所 ・八千代エンジニアリング(株) ・(株)ドーコン
16:30~17:15	0.75h	全体討論	奥田 英治 (日本工営(株))
17:15~17:30	0.25h	現場実習ガイダンス	寺田 貴俊 (日本工営(株))
18:00~		意見交換会	—

第2回現場研修・座学 CPD:15h(予定)

現場見学:水資源機構 川上ダム 9月5日(木)~9月7日(土)(2泊3日)(調整中)

チーム編成:4名×5チーム 講師:各班に1人;計5名

○現地実習の講師は下記より5名を専任予定

1. (株)ニュージェック
2. (株)建設技術研究所
3. 八千代エンジニアリング(株)
4. (株)ドーコン
5. 日本工営(株)

○事務局スタッフ

- ・奥田英治(日本工営(株))
- ・寺田貴俊(日本工営(株))
- ・磯村 敬(八千代エンジニアリング(株))

実習内容

- ・班に分かれてボーリングコアの観察や掘削面のスケッチを行う。
- ・観察結果等に基づいて各種断面図を作成する。
- ・最終日に、実習で作成した断面図の各班発表と総括を予定。

以 上